「世界遺産 『百舌鳥・古市古墳群』 周遊コンテンツ制作等業務」 企画提案公募に係る質問と回答

資料名	ページ	質問	回答
1	-	本業務の実施において、大阪万博（4/13～10/13 ※184日間）との公式的な関連（連携）はあるか。（商標・文言等の使用可否について）	特にありません。
2	-	契約締結後、活用会議との各種打合せ（報告）について 1）現地参加必須の会議はあるか。（Web会議は可能か） 2）現地会議（必須）の場合どのぐらいの頻度（又は回数）か。 3）上記の費用（交通費）は受託者負担か。	1）特にありません。Web会議も可能です。 2）進捗状況のご報告等、業務スケジュールに応じて、適宜設定してください。 3）契約金額以外の費用は負担いたしません。※仕様書P7 12その他（1）参照
3	仕様書 6（2）	令和8年度（次年度）以降の年間保守運用費用について 維持管理、スポット追加費用などは本案件とは別枠記載でよいか。	別枠記載（応募書類（様式3）参照）としてください。
4	-	採択後（又は事業実施中or実施後）に受託者が本業務に関連するプレスリリースなどの発出は可能か。	プレスリリースなどの発出は、活用会議と協議の上で行っていただくことになります。
5	仕様書 5（1）	対応言語の中国語は「簡体・繁体」の2種類が必要か。（計5種 日本語含む）	中国語は「簡体・繁体」の2種類が必要です。
6	仕様書 5（4）	広報用チラシはどこで配布される（置かれる）か。	大阪府内の観光案内所、各古墳のガイダンス施設等での配布を想定しています。
7	仕様書 5（4）	広報用チラシは2,000枚以上になることはあるか。（追加印刷を求められる等）	追加印刷を求めることはありません。
8	仕様書 5（1）	古墳の写真、解説（テキスト）は、日本語以外の他言語も提供可能か。	提供可能です。
9	仕様書 5（4）	PRグッズ1,000個の仕様について指示または、過去制作したグッズ仕様について共有可能か。	活用会議と協議の上、百舌鳥・古市古墳群の理解促進やスタンプリリーへの参加意欲を喚起するような、効果的な啓発グッズの検討・制作をお願いいたします。過去には、クリアファイル、ボールペン、エコバッグ、手ぬぐいを制作しました。
10	公募要領 7（1）	「プレゼンテーション審査にはパワーポイント等の機材は使用できません」とは。	プレゼンテーション審査では、提出いただいた紙資料（企画提案書）でプレゼンテーションを行っていただけます。なお、ご自身の説明用にPCを持ち込みいただいても構いません。
11	公募要領 8（6）	「契約金額の100分の5以上の額の契約保証金」の納付とは。	契約保証金の免除とならない場合（P8(7)）は、契約締結前に、契約金額の100分の5以上の額の契約保証金を納付していただけます。事業完了の確認後、契約保証金は還付します。
12	公募要領 1（1）	「高い価値や魅力を国内外に伝え、認知度や来訪意識の向上につなげるための取組みを進めています。」とあるが、どのようなTGIに向けてどのような取組みをしたのか、しているのか。	2019年（令和元年）の世界遺産登録以降、国内外への認知度向上等を目的に、古墳群のPR映像等を制作し、国内外に向けて価値や魅力をPRしてきました。特に、昨年度よりThe New York Times電子版へのPR記事掲載や広告配信など、国外に向けてより積極的に情報発信を行っています。 なお、本事業は、これらの情報発信を行いながら、国内外から多くの方の古墳群現地での受け入れ体制を整備するため、「周遊コンテンツ」を制作するものです。 ターゲットは、日本人、外国人、大人から子どもまで幅広い年齢層です。取組詳細は、事務局のHPをご覧ください。
13	公募要領 7（1）	プレゼンテーション審査時の、参加人数（上限）、プレゼンテーション時間、説明資料は紙面のみか。	会場環境より、説明者は3名上限の予定です。3名以上の参加を希望される場合、説明者の後ろに控えていただくことは構いません。 プレゼンテーションの時間は15分程度を予定しています。説明資料は、提出いただいた紙資料（企画提案書）でプレゼンテーションを行っていただけます。※質問10参照

「世界遺産 『百舌鳥・古市古墳群』 周遊コンテンツ制作等業務」 企画提案公募に係る質問と回答

資料名	ページ	質問	回答
14 公募要領 4 (1)	3ページ	イ企画提案書 補足資料は「様式自由」とあるが、枚数・向き（縦横）・サイズに決まりはあるか。	詳細の指定は特にありませんが、A4サイズのフラットファイルに綴って提出いただくため、ファイルに綴った状態で文字等が読み取れる状態で提出してください。
15 公募要領 4 (1)	3ページ	提出書類の形式で電子媒体（CR-R等）とあるが、格納する書類は、応募書類（ア～カ）まででよい か。※添付書類（キ～サ）は含めなくてよいか。	格納する書類は、応募書類（ア～カ）です。添付書類（キ～サ）の格納は不要です。
16 公募要領 4 (1)	4ページ	提出書類について、定款の原本証明とはどのようなものを提出すればよいか。また、提出書類の押印 は代表取締役印で問題ないか。	定款の写しに代表者印を押印し、原本と相違ない旨と日付けを記載の上、証明をお願いします。押印 については、事業者の代表者印をお願いします。
17 仕様書 3	1ページ	「必要に応じた機能等を追加」とあるが、仕様書で必須機能以外のものについて別途費用が生じる場 合は請求可能か。	契約金額以外の費用は負担いたしません。※仕様書P7 12その他（1）参照
18 仕様書 5 (1)	2ページ	Wi-Fi環境以外の通信環境でも滞りなくダウンロードできるものにするのとあるが、Webサービスで 考えているため、ダウンロードしない。問題ないか。	Wi-Fi環境以外での使用の場合も、画面の表示や切り替え等、円滑にコンテンツが利用できるもので あれば問題ありません。
19 仕様書 5 (1)	2ページ	地図データについての提供はあるか。	ウォーキング・マップを参考に作成してください。 百舌鳥古墳群ウォーキング・マップ https://www.mozu-furuichi.jp/jp/visit/mozu_map.html 古市古墳群ウォーキング・マップ https://www.mozu-furuichi.jp/jp/visit/furuichi_map.html
20 仕様書 5 (1)	2ページ	周遊ルートの設定について機能としての設定ではなく、あらかじめマップ上に表示しておく形でよい か。	現在地からのナビゲーション機能等、古墳群を効率的に周遊できる機能に支障がないのであれば問題 ありません。
21 仕様書 5 (1)	2ページ	ルート設定については複数のルートですべての古墳を網羅する形でよいか。	そのとおりです。
22 仕様書 5 (1)	2ページ	ご提供可能な写真データや解説文（テキスト）について、各古墳すべてを準備可能という 想定でよいか。 また、言語についても日本語・英語・中国語（簡体・繁体）・韓国語で各々準備可能か。	構成資産49基の古墳について、写真データと解説文（日本語・英語・中国語（簡体・繁体）・韓国 語）の提供が可能です。ただし、音声データは事業者様にてご準備ください。
23 仕様書 5 (1)	2ページ	業者での案内文作成や翻訳作業はあるか。ある場合はネイティブチェック等、求められるレベルはあ るか。	構成資産49基の古墳について、写真データと解説文（日本語・英語・中国語（簡体・繁体）・韓国 語）の提供が可能です。こちらから提供した解説文以外を使用される場合は、案内文作成や翻訳作業 が必要です。その場合、活用会議の案内文確認および他言語のネイティブチェックをお願いいたしま す。
24 仕様書 5 (1)	2ページ	音声案内について、表示される解説文の読み上げでよいか。また、読み上げは機械音声でよいか。	解説文の読み上げで問題ありません。また、理解しづらい、聞きづらい機械音声でないこと、イント ネーション等の違和感のないものであれば機械音声でも問題ありません。読み間違え等がないかの確 認は必ず行ってください。
25 仕様書 5 (1)	2ページ	スタンプラリー機能について、「オリジナルスタンプ等を作成」とございますが、オリジナルスタ ンプの作成は必須か。	古墳画像（もずふるカード https://www.mozu-furuichi.jp/jp/visit/mozufuru-card.html 等）を スタンプにする等、工夫を加えた提案をいただきたいという趣旨です。提案にあたり、オリジナルス タンプ等の作成が困難な場合は、その旨を企画提案書に記載してください。
26 仕様書 5 (2)	4ページ	（2）周遊コンテンツの運用及び保守 イ保守について ①AppStore及びGooglePlayへの登録申請及び登録維持対応は、Webサービスで考えているので、行わ ないが、よいか。	問題ありません。

「世界遺産 『百舌鳥・古市古墳群』 周遊コンテンツ制作等業務」 企画提案公募に係る質問と回答

資料名	ページ	質問	回答
27 仕様書 6(2)	5ページ	「※留意事項 上記で提案された金額・内容での保守運用を保証するものではない。」とあるが、次年度は業者の変更もあるということか。	次年度以降、本コンテンツに係る保守費用等を確保できない場合もあり、現時点において、提案のあった次年度以降の保守運用費用を確実に保証できるものではないという趣旨です。この場合、コンテンツ運営委託事業者の変更、制作事業者との再交渉、コンテンツ自体の廃止等、事業継続について再検討することを想定しております。このため、保守運用費用は、可能な限り安価であることが望ましく、次年度以降の保守運用に係る費用を含めた審査内容としております。
28 仕様書 10	6ページ	(4)にコンテンツ設計図とあるが、Webサービスで考えているため、画面遷移図の納品となる。問題ないか。	コンテンツの仕様が決まるのであれば、画面遷移図でも問題ありません。
29 仕様書 10	6ページ	(6)のソフトウェアは、Webサービスで考えているので、納品できない。問題ないか。	その場合、推奨の使用環境(推奨ブラウザ)を記載したものを提出してください。
30 仕様書 10	6ページ	(7)のソース一式とは、何を指しているか。	納品するコンテンツに使用したソースのことを指します。
31 仕様書 10	6ページ	上記を含む(4)から(7)の提出様式について参考様式の提示は可能か。	特に指定様式はございませんので、提示は行いません。
32 公募要領 4(1)	3ページ	「使用印鑑届」「委任状」以外の提出書類への捺印(押印)は不要でよいか。	「使用印鑑届」「委任状」への押印、「定款又は寄付行為の写し」への原本証明(押印)が必要です。※質問16参照
33 公募要領 4(1)	3ページ	イ 企画提案書(様式2) 上記様式について、任意の別紙を使用する場合A4を使用するようあるが、A3をA4サイズに折り込んで使用することは認められるか。また用紙の向きや枚数に制限はあるか。	任意の別紙については、A3をA4サイズに折り込んでいただいても構いません。用紙の向きや枚数に制限はありませんが、A4サイズのフラットファイルに綴って提出いただくため、ファイルに綴った状態で文字等が読み取れる状態で提出してください。
34 公募要領 4(1)	3ページ	副本の提出についてですが正本同様、A4のフラットファイルに綴り提出すればよいか。	そのとおりです。正本同様、副本全てA4のフラットファイルに綴ってください。副本(表紙及び背表紙含む)は、提案事業者が特定できる内容(代表者名、社章、所在地、電話番号等含む)を記入しないでください。黒塗りの場合は、透けて見える状態となっていないか提出前に必ずご確認ください。
35 公募要領 4(1)	3ページ	電子媒体で提出するファイルの範囲について、応募書類のA～カまでの提出が必要な書類を電子媒体に格納するという認識でよいか。	格納する書類は、応募書類(A～カ)までです。※質問15参照
36 公募要領 4(5)	5ページ	配達までの送達過程が確認できる簡易書留等により提出するようあるが、宅急便の使用は認められるか。	配達までの送達過程が確認できる送付方法であれば、宅急便の使用でも構いません。
37 仕様書 5(1)	2ページ	「活用会議から提供するものを使用してもよい。」とあるが、周遊ルートに掲載するテキスト情報は、日本語だけでなく、英語、中国語(繁体字・簡体字)韓国語も提供可能か。それとも、翻訳が必要か。	テキスト情報は、日本語だけでなく、英語、中国語(繁体字・簡体字)韓国語もご提供可能です。提供したものを使用いただくのであれば、翻訳の必要はありません。ただし、音声データは事業者様にてご準備ください。※質問22参照
38 仕様書 5(2)	4ページ	イ 保守 ①App Store及びGoogle Playへの登録申請及び登録維持対応 システムは、ストアへの公開が必要なアプリのみが要件か。Webアプリでの機能実現では要件を満たさないということか。	Webアプリでの機能実現のみでも問題ありません。
39 仕様書 5(4)	4ページ	スタンプラリー参加者に配布するPRグッズ(百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議の名入込み)を1,000個作成すること。とある、これは物理的な商品という理解でよいか。グッズとは、ボールペンや、クリアフォルダーなどの製品でも構わないという理解でよいか。	物理的な商品の納品をお願いします。活用会議と協議の上、百舌鳥・古市古墳群の理解促進とスタンプラリーへの参加意欲を喚起するような、効果的な啓発グッズの検討・制作をお願いします。※質問9参照